



三春中学校だより

第 29 号

発行日 令和 元年 9 月 10 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【三春中生、校外学習でも立派な行動！ ～アクアマリンふくしまへ行ってきました。～】

9月2日（月）、第2学年の理科の授業の一環として、アクアマリンふくしまに行ってきました。2年生理科担当の岩瀬先生の指揮の下、私も2号車に乗せていただき、一緒に校外学習に出かけました。

バスの中では、公共の乗り物として同乗者に配慮し、場に応じた言動が見られました。到着後は、施設内のマリンシアターに全員が入り、地球上の生き物や環境問題などについての説明をいただきました。説明くださった職員の方よりメモをしっかりとって聞く姿勢を褒められ、問いかけにきちんとうなづく姿勢も立派でした。また、会場の端の方に座ってしまったので移動を促されると、実にスムーズにスクリーンの正面に移動できました。帰りはバス集合でしたが、戻ってきた生徒さんに「〇」をつけてと女子生徒さんをお願いしたところ、責任をもって最後まで「〇」付けをして私のところまで持ってきてくれました。「3名が行方不明です。」という言葉と共に。帰りのバスの中ではさほど疲れも見せず楽しく過ごしましたが、時間を有効に活用して、学習の振り返りのためのワークシートに記入を済ませてしまう生徒さんもいました。

こういう機会にも日頃の学習への取組の姿が如実に出るものです。聞いたことをメモして学ぶ姿勢、問いかけにうなづくながら積極的に学習する姿、指示を守り時間を有効に使う態度、責任を最後までやり遂げる力など、たくさんの方のすばらしい活動に接することができた校外学習でした。

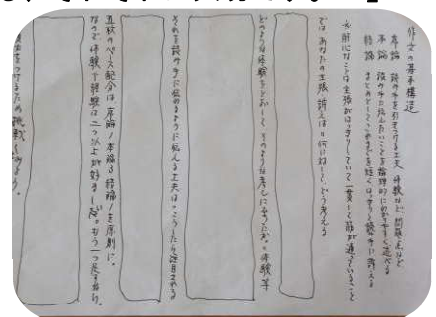


【“挑戦”！ ～やめるのも、やってみるのも、最高をめざすのも、それぞれに大切です。～】

（続き）3枚の作文構成表には、3名の生徒さんが主張すること、それに至った経験や主張を伝えるために考えた工夫などが書かれていました。それをもとに私もよりよい作文の在り方について一緒に考えてみました。月曜日2日（月）の朝は、再び校長室に集まっていたいただき、3名の生徒さんに私の考えについて説明し、生徒さんにはそれを受けて作文を練り直し、続けてみてくださいと伝えました。

一方、2部の手紙には、この時期やらなければならないことが錯綜し、よりよいものがない心配があるので今回は見送らせてほしいという旨の文章がしたためられていました。早速、それぞれの生徒さんに手紙を返し、何かと忙しい中で心配をかけたお詫びと気にせず今自分がやらなければならないことに全力で取り組んでほしい旨を伝えました。「できなくてもまったく問題ない。」と伝えたものの、2名の生徒さんはそのままにせず、きちんと断りのお手紙を返してくれたことに感心しました。これまたすばらしい対応だったと思います。

さて、その後の3名の作文はどうなったかというと、“鋭意作成中”であり、これまた後ほどお伝えしたいと思います。（続く）



【『HARU FES』新たな伝統にむけ！ ～文化祭での新たな伝統にご期待ください。～】

10月19日（土）の三春中学校文化祭『HARU FES』にむけ、生徒会、各学級・学年、音

楽科等ではその準備・練習の真っ最中です。校舎内には、文化祭のテーマが掲示され、実行委員が紹介され、合唱曲の歌声が響いてきます。

今年度の三春中学校文化祭『HARU FES』のテーマは、『「Be proud of…」～新たな伝統を～』です。『令和』という新しい時代に、『HARU FES』をとおし、全校生が誇りとできる新たな伝統をみんなで作っていく、また、『自分から』という三春中生のモットー・精神をさらに磨き上げ、これまで以上に、一人ひとりが何らかの誇りをもって活気あふれる学校にしていこうという思いが込められたテーマです。

準備・活動に一生懸命な子どもたちを目の当たりにし、先生方には、『誇り（命の輝き）は何であったかを明確に子どもたちに伝え、子どもたち自身がそれを自覚でき、以後の人生・学校生活を過ごす上の『誇り』となるよう、認め・励ます場の意図的な設定をぜひお願いしますと伝えました。

ご多用なこととは存じますが、『HARU FES』当日はぜひご来校いただき、子どもたちの活躍をご覧くださいますようお願いいたします。



【面倒でも！、汚れたら！ ～スクールバス同様、学校も公共の建物です。～】

朝、学校の鍵を開け校舎内に入ると、連絡用の公衆電話前が泥で汚れていました。泥は下足用のタイルの上だけでなく、上履き用のフロアの上まで広がっていました。

先日は、スクールバス利用の生徒さんたち中心に、公共の乗り物の使用の仕方などについてお伝えしたところではありましたが、学校も公共の機関・建物であります。『来たときよりも美しく』は、自然の家等の公共機関を使用した際のキャッチフレーズです。

前日は下校時間が近づき、急いで電話連絡をしなければならない状況があったのでしょうか。そんな時こそ一息ついて自分を振り返り、自分たちの校舎、みんなの校舎を汚さず、きれいにしようとして自分に言い聞かせる心のゆとりも大切です。

「急いでいたけど自分は汚さずに校舎を使ったよ。」「急いでいたので校舎を汚してしまったけど、ちゃんと後できれいに掃除したよ。」という考えや行為こそ、自分自身による自分自身への『誇り』づくりになるはず。「急いでいたけどちゃんとやったよ。」「汚してしまったけどちゃんと後始末したよ。」そういうふうに考え、行動できることが三春中学校に生活する一人ひとりの『誇り』につながると思いませんか。



【授業、学力向上！ ～まずは授業に集中して取り組もう。～】

学校でのいちばんの取組は、なんといっても『授業』です。夏休み明け2週間を経過し、夏休みモードから学校生活モードへのリズム戻しはどうかと心配し、校舎内を巡って歩くと、心配に反し、子どもたちも先生方も授業に集中して取り組んでいます。3年生スペースのホワイトボードの学年目標には、『落ち着いた学校生活を過ごしましょう。授業と家庭学習をがんばろう』とありました。

